

報 告 書

2011年10月

町田市下水道ビジョン策定懇談会

第1 下水道ビジョン策定に関する結果報告

2010年11月の懇談会発足以来、計7回にわたって様々な視点から下水道ビジョン案について意見を述べてきた。

去る10月21日に行われた懇談会で示された「下水道ビジョン（案）」は、多少の文言の修正は必要だが、概ね妥当であるとの結論に至った。

下水道ビジョンがまとまることで、今後の下水道事業の進むべき方向性について、一定の道筋ができたと考えている。

下水道を取り巻く環境が大きく変わる中、今後、多様な市民サービスに答えながら下水道事業を進めるにあたっては、特に下記の個別意見を重視して、基本理念である「次世代につなげる良好な水環境を目指して」もらいたい。

第2 個別意見

1 下水道機能の安定的な確保について

下水道事業スタートから40年以上が経過し、整備の時代から維持管理にも注力しなければならない時代へと移り変わりつつある。

また、東日本大震災では首都圏でも下水道施設に被害が発生し、下水道が使えず市民生活に大きな影響を与えていた。

下水道は生活に欠かすことのできない重要な都市基盤であることから、その機能を安定的に確保できるよう事業を進めてもらいたい。

2 市民とのパートナーシップについて

下水道ビジョンの基本理念を達成するためには、行政の努力だけでなく、市民の協力が不可欠である。

下水道整備が進んだ結果、市民の下水道への関心が徐々に低くなってきているが、顧客である市民に積極的に下水道事業をPRし、事業の理解を深め、協力が得られるよう心がけてもらいたい。

3 健全な下水道経営の達成について

下水道事業を取り巻く環境の変化を的確に捉え、着実に事業を推進しながら、市民に大きな負担を与えずに安定的に下水道サービスを供給していくことが必要である。

そのためには、緊急性や効率性を十分に配慮して事業を実施し、次世代に引き継げる健全な下水道経営を達成してもらいたい。

第3 懇談会の検討経過

- 第1回 2010年11月17日（水）
- 第2回 2011年 1月19日（水）
- 第3回 2011年 2月17日（木）
- 第4回 2011年 3月22日（火）
- 第5回 2011年 4月28日（木）
- 第6回 2011年 7月14日（木）
- 第7回 2011年10月21日（金）

第4 町田市下水道ビジョン策定懇談会 委員名簿

	氏 名	分 類
会 長	たかちほ やすなが 高千穂 安長	
委 員	なが おか ひろし 長 岡 裕	学識経験者
	まつもと のぶこ 松本 暢子	
	いち こ たろう 市古 太郎	
	もりなが ひさえ 盛永 久恵	町田市町内会・自治会連合会の代表
	まつだ ひでゆき 松田 英行	商工業者その他事業者
	いしかわ あきら 石川 旭	公募市民
	わたなべ ひろし 渡辺 洋	